

待ちに待った給食
黒パン チェリーゼリー
ジャーマンポテト
ミートボールトマトスープ

ほぼ日刊夢の華 C^カa^ラr^ッa^ト

第773号
神町中学校 夢色通信社
令和2年12月8日

ICT教育 県内拠点校の取り組み 山形新聞 (12月7日より)

「小学生は縄文時代以前の学習

東根市神町中学校は、社会や数学、理科、体育、英語などさまざまな教科で情報通信技術（ICT）を活用している。このうち1年生の社会科ではタブレット端末を使い、人類の誕生から旧石器、新石器時代について学んだ内容を動画にまとめるなどした。



をしていない。みんなで教えてあげよう。1年生社会科担当の鈴木翔悟教諭（29）が授業の導入部分で呼び掛けた。生徒たちが卒業した小学校の教諭にも同様の依頼を



オレターも用意して関心を高め、小学生に分かりやすく伝える方法を考えさせた。学習内容をより深く調べるとともに、伝え方にも工夫してほしいとの狙いだ。

漫画、紙芝居、壁新聞、手紙などさまざまなアイデアが挙がり、生徒たちは個人・グループでそれぞれの方法で学習内容をまとめた。その一つがタブレット端末を活用した動画制作だった。

動画で伝えることを試みた生徒のうち、男子8人によるチームは旧石器時代の人類が動物を狩猟する様子を寸劇で表現することに挑んだ。新聞紙で道具や衣装を手作りし、タブレット端末のカメラで撮影した動画でまとめた。「演じる上でいろいろ調べ、進化の過程などがよく分かった。と丹野聖斗さん（13）。武田結太さん（13）は「さらにクオリティーの高い動画を作りたい」と興味を抱いた。女子4人のチームは原人や新人、打製石器や磨製石器などの画像のスライドショーをつくり、BGMや、ナレーションをつけた。神保優奈さん（12）は「ナレー

教科書深掘り 伝え方にも工夫

シヨンは分かりやすい言葉にするなど工夫した。活動を通して学習内容が記憶に残りやすかった」と話す。相沢瑞希さん（13）は、「動画編集アプリも使い、意見交換しながら作るのが楽しかった」と振り返った。

まとめ学習は5、6時間分の授業を使って各クラスで実施した。昼休みや放課後作業する生徒もいたという。鈴木教諭はメリットについて「教科書の内容をさらに深く掘り下げて調べることができるとし、「座って授業を聞くよりも生徒たちが生き生きと学習している」と語った。

同行はタブレット端末約70台を各学年や教科で活用している。理科は調べ学習、体育は動画による動きの確認、数学は問題アプリの利用などを通し、ICT教育を推進している。